

1 学校教育目標

- 心豊かで思いやりのある子ども
- 自ら進んで考え、工夫する子ども
- 健康でねばり強い子ども
- たがいに協力し、進んで実行する子ども

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	確かな学力と豊かな心、健やかな体を本気で育てる学校 ○学力を定着させる学校 ○豊かな人間性をはぐくむ学校 ○体力・運動能力を高める学校 ○家庭・地域が協力し合う学校 ○組織的に教育活動を展開する学校
○児童・生徒像	○心豊かで思いやりのある子ども（あいさつをきちんとし、誰に対してもやさしく思いやりのある子） ○自ら進んで考え、工夫する子ども（自ら考え、自ら学ぶ意欲を身につける子） ○健康でねばり強い子ども（健康で、我慢強く最後までやりとげる子） ○たがいに協力し、進んで実行する子ども（自分で考え自分で判断し自分で行動し責任をとることができる子）
○教師像	○プロ意識をもち、教育活動を生き甲斐と感じる教師 ○子どもと共に自ら伸びようと努力し続ける教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

新型コロナウイルス感染防止策を徹底しながら、児童の学びを保障するために最大限の努力をしている。

【令和2年度の成果と課題】

1 学力向上アクションプランについて

- 数値目標 令和2年度足立区学習定着度調査 区平均通過率 2教科80.9%
- 実施結果 令和2年度足立区学習定着度調査 花保小通過率 2教科81.7%

【課題】 通常登校後の日々の時数増、非常事態宣言発令等によって、補習を行う時間が少なく、学力の定着に課題があると考え。

【対策】 パワーアップタイムや放課後補習の時間にミニプリント等に取り組みせ、習得・習熟を図る。

【結果】 11月の再調査では、全学年、国語、算数の通過率を90%に向上させた。

【全体】 令和3年2月に新学年の学力調査をプレ実施し、令和3年度の学力調査まで、個々の課題について習熟を図った。

【総括】 6年連続、区の平均通過率を上回った。令和2年度は、中学1年生の区学力調査でも、本校卒業生は好成績であった。足立区のボトルネックのひとつ「学力」において中学校によりよい「学力」のバトンタッチができたことを嬉しく思う。

2 教師の指導力向上について

- 成果目標 教師一人一人の指導力の向上
- 達成基準 教師一人一人の指導力の向上（OJTガイドラインに基づく教師一人一人の育成段階ごとの目標達成）

東京都OJTガイドラインで求められている目標を達成するために、各教員の職層と経験年数、資質と能力から、個に応じた指導や助言を行った。若手教員には各教科で「あだちスタンダード」の授業ができるように、管理職と足立区教科指導専門員で継続的な指導を行った。特に、「算数」では、児童の自力解決を大事にした問題解決型授業展開の指導法が継承されている。ベテランから若手までの全員が本校の学習における課題について強い危機意識をもって、自己の授業力の改善を図れた。授業改善には次年度もOJTも含めて強化していく。

3 心の教育の充実について

○成果目標 児童一人一人の心の成長

○達成基準 QU数値の向上

○実施結果 学級生活満足群の学年集計 令和2年12月実施（2回目）

1年生72%（全国42%）2年生64%（全国42%）3年生66%（全国42%）4年生45%（全国43%）5年生64%（全国43%）6年生78%（全国43%）

一人一人が自分自身のリーダーになり、自信をもって、実りある充実した人生を送れるようにするために、「リーダー・イン・ミー」を心の教育の柱として推進した。また、QU調査を年2回実施し、学級全体と児童個々の状況や学級内の対人関係をデータによって明確に把握した。管理職と学年とのデータに基づくミーティングを定期的に行い、児童個々に対する方策を練らせた。データに基づく声かけや励まし等で、児童の自己肯定感が高まってきている。一層の心の教育を推進する。

4 保育園・幼稚園・中学校との連携

○成果目標 保育園・幼稚園・中学校と連携を密にし、入学時・卒業時の円滑な接続と基礎学力の定着を図る。

○実施結果 保育園・幼稚園との連携

コロナ禍の対応のため、直接交流は制約されたが、本校が連携する5つの幼稚園と保育園で連絡会議が実施でき、その後も情報交換や職員交流ができた。

○実施結果 花保中学校との連携

コロナ禍の対応のため、活動の制約はあったが、可能な限り職員が交流し互いの学校状況を把握できた。花保小学校卒業生の学力調査の結果が良かったことから、これまでの連携の成果として互いに自信を深めることができた。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R1	R2	R3	R4	R5
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	教師の指導力向上	○	○	○	○	○
3	心の教育の充実	○	○	○	○	○
4	保育園・幼稚園・中学校との連携	○	○	○	○	○

5 令和3年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン		
A 今年度の成果目標	達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題	達成度 ◎○△●
足立区平均通過率と同水準を達成する。	足立区学力定着度調査 目標通過率 区平均数値			◎

B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 改善	学力向上 児童理解 対策会議	学年単位	①4月 ②6月 ③11月 ④1月 ⑤随時	【指導者体制】 管理職・学力向上委員長 【取組みのねらい・目的】 学力結果、Q U結果の分析と 対策 左記時期と対応 ①前担任→現担任 ②③学年単位で個別分析 ④上学年→下学年」 ⑤該当学年、該当学級	学力調査 再調査 プレテスト Q U調査 (2回)	目標通過率 学級生活満足 群の割合向上			
2 改善	朝学習 (パワー アップタ イム)	全児童 国語 算数 読書	毎週火 (読書) 毎週水 (漢字) 毎週木 (算数) 開始時 刻厳守	【指導者体制】 担任 【取組みのねらい・目的】 ・学習内容の復習・基礎学力 の定着。 ・読書に親しむ。読む力を伸 ばす。 【使用教材】漢字プリント、 東京ベーシック診断シー ト・次へのステップ・その 他計算等のプリント学習	・東京ベー シック診断シー ト、及び次へ のステップな どのミニテス トを実施。 ・保護者の学 校評価におけ る数値向上。	・年度末までに 東京ベーシッ ク診断シート 正答率90%、 毎回のミニテ ストで正答率 80%以上の 結果。 ・読書量の増 加。			

3 継続	花保ステップタイムと放課後学習	全児童 国語 算数	花保ステップ 毎週水 5校時 放課後 週1回	<p>【指導者体制】 担任、副担任の専科教員、学習支援員</p> <p>【取組みのねらい・目的】 学習内容の復習・基礎学力の定着。</p> <p>【使用教材】漢字プリント、東京ベーシック診断シート・次へのステップ・その他計算等のプリント学習。</p>	東京ベーシック診断シート、及び次へのステップなどのミニテストを実施。	年度末までに東京ベーシック診断シート正答率90%、毎回のミニテストで正答率80%以上の結果。			
4 継続	放課後補習	全学年 国語・算数 学力調査 正答率50%以下の児童	個人面談実施可能時	<p>【指導者体制】 算数少人数・専科教員・学習支援員・ボランティア</p> <p>【取組みのねらい・目的】 個々の課題の補充指導。</p> <p>【使用教材】国語・算数のプリント学習。</p>	プリントを担当に見せて、理解の状況を伝える。	個々の課題のプリントで正答率10ポイント改善。			
5 改善	家庭学習ノート	全児童 学年の状況により順次実施する。	毎日	<p>【指導者体制】 担任が評価しコメントを記入。児童に「家庭学習の手引き」を配付、保護者にも協力を依頼する。良い内容ノートを紹介する。教員間レクチャーを実施する。</p> <p>【取組みのねらい・目的】 自学の習慣・「書くこと」に慣れさせる。</p>	宿題提出状況を担任が記録。	宿題提出率90%目標。			
6 改善	そだち指導員保護者面談	対象児童	年2回	<p>【指導者体制】 そだち指導員2名。</p> <p>【取組みのねらい・目的】 児童別の保護者授業参観と個人面談を実施する。授業の様子を知らせ、家庭学習について協力を依頼する。</p>	週案で確認。	実施し、保護者に理解を得る。			

7 改善	ICT の活用	全児童	毎日	【指導者体制】 全教員 【取組みのねらい・目的】 全教員がICTを活用した授業を推進し、児童が「学び合い」等で、思考を深める活動ができるようにする。	週案や授業観察で確認。	・ICTの活用で効果がある指導内容時の活用率100%。 ・児童自らが活用できる。			
8 改善	MIM	1学年児童	毎月	【指導者体制】 1年担任、日本語指導 【取組みのねらい・目的】 特殊音節の定着(読み・書き)読みの流暢性を高める。	毎月、アセスメントを実施する。	年度末までに1stステージ80%以上 2ndステージ20%以下			
9 継続	かけ算九九検定免許証制度	2学年以上の全児童	5月～2月	【指導者体制】 検定者は、管理職、算数少人数担当者。指導は、担任と算数少人数担当者。 【取組みのねらい・目的】 ゴールド、普通免許制度の工夫で全員が確実に暗唱。	学力向上委員長と担任が連携して記録し、管理職に提出する。	全員合格。			
10 継続	パンダとコアラちゃんからの挑戦状漢字テスト(校長と副校長)	全児童	年10回 4月から	【指導者体制】 管理職、学習支援員、スクールサポートスタッフ、担任。 【取組みのねらい・目的】 前期は前学年の漢字復習後期は現学年の漢字復習月1回確認テストを行い、基礎学力の定着を図る。 【使用教材】 プリント教材	全問合格した児童に毎回賞状を直接渡す。 合格するまで再テストを実施し、賞状を渡す。	全員100%目標。			
11 継続	春休みだよ！パンダとコアラちゃんからの挑戦状	全児童	3月4月	【指導者体制】 管理職・担任 【取組みのねらい・目的】 春期休業中に、前学年の復習を家庭で行わせる。 【使用教材】 学力調査問題	正答率80%以上の児童に賞状を渡す。	区学力調査で目標を達成する。			

重点的な取組事項－２		教師の指導力向上				
今年度の成果目標		達成基準	実施結果		コメント・課題	達成度
教師一人一人の指導力の向上		教師一人一人の指導力の向上 (OJT ガイドラインに基づく教師一人一人の育成段階ごとの目標達成)				
目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果		コメント・課題	達成度
ICT 活用指導力の向上 校務の情報化による校務の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> ○情報活用能力を身に付けさせる授業の実施 ○校務の情報化による負担軽減の実感 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報化指導研修の実施。 ○ICT 環境の整備 ○出欠、成績、保健等の情報や図書等の管理、指導計画や指導案、デジタル教材、学習履歴等の情報化 				
資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ○都OJTガイドラインで求められている経験年数、職層に応じた目標の達成 ・職層に応じた職務の遂行 	<ul style="list-style-type: none"> ○校長レクチャーの実施（年度当初）教職員研修資料の改訂 ○転入・新規採用教員研修と若手教員養成塾の実施。 ○自己申告書・面接の重視（目標の明確化・学力・QU） 				
指導力・授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○足立スタンダードによる授業の確立。 ・「めあて、まとめ、振り返り」100% ・管理職による授業評価 4段階B以上。 ・特殊音節の継続的な指導(MIM の理解と指導) 	<ul style="list-style-type: none"> ○区委員等による足立スタンダード、MIM 研修の実施 ○学校及び学年共通指導 ○区教科指導専門員の指導 ○授業分析 板書撮影と逐語記録 ○管理職の授業評価と指導・助言 随時 ○区小研への全員参加 				
英語教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○英語が大好きな児童を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書を踏まえた足立区作成単元指導計画及び学習指導案の活用 ○外国語アドバイザー、講師、AET を活用した授業の充実 				

重点的な取組事項－3		心の教育の充実			
今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
児童一人一人の心の成長		Q U数値の向上			
目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
心の教育の充実 道徳授業の充実 いじめ防止	○Q U調査の2回目の結果での「学級生活満足群」数値割合の向上 ・百人一首大会の実施 ・17宣言の浸透 ・いじめゼロ	○全校朝会での講話 ○Q U調査の2回実施と分析 ○「リーダー・イン・ミー」教育の日常的な推進。 ・共通用語での共通指導の推進 ・サンクスカードの通年実施 ・あおぞら教室での指導			
無言清掃	○無言清掃の定着	○強化週間の実施			

重点的な取組事項－4		保育園・幼稚園・中学校との連携			
今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保育園・幼稚園・中学校との連携を密にし、入学時の円滑な接続と基礎学力の定着を図る。		幼保中と連携して教育を進め、下記の2項目を達成する。			
目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
保育園・幼稚園との連携	○円滑に小学校生活をスタートすることができ、4月中に小学校生活に慣れる。 ○学びにつながる生活習慣を身に付けさせるために、連携園と共通テーマを決めて実践。	○小学校スタートカリキュラムに基づいた週案簿の作成 ○4月入学時実態調査の公表 ○連携保育園・幼稚園 ・卒園児状況参観（4月） ・校長講話（園保護者対象） ・花保小エリア園長会議の実施			
花保中学校との連携	○授業力を高めるための研究交流授業の実施 ○見学、交流活動の実施	○授業参観と協議会 ○児童・生徒の状況についての情報交換・調整会議（随時） 中学校見学と部活動体験 ○中一合宿の教員派遣			